

平成24年度一般用医薬品販売制度定着状況調査結果について（概要）

平成25年7月
医薬食品局総務課

1. 調査の目的

平成21年6月に施行された一般用医薬品の販売制度について、一般消費者の立場から制度の定着状況等を点検・調査することにより、医薬品販売の適正化を図る。

2. 調査の内容[※]

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

調査員が一般消費者の立場で、全国6,538件の薬局・店舗販売業者（以下「薬局等」という。）の店舗を訪問し、一般用医薬品の販売制度に係る事項を中心に、店舗での販売状況等について調査（調査期間は平成25年1月～平成25年2月）

（主な調査項目）

- ①医薬品のリスク分類別の陳列状況、従事者の名札着用状況
- ②店舗での情報提供、相談対応の状況 等

(2) 郵便等販売に関する調査：

ウェブ上で一般用医薬品を取り扱っている販売サイト201件を対象として、一般用医薬品に関するウェブ上の情報記載、郵便等販売の状況等を調査

(3) 配置販売に関する調査：

調査員が調査期間中に配置販売業者の訪問を受けた事案50件について、陳列状況、相談対応の状況等を調査

※委託調査により実施（委託先：ソフトブレン・フィールド株式会社）

3. 主な調査結果（括弧内の数字は昨年度の結果）

(1) 薬局・店舗販売業の店舗販売に関する調査

①医薬品の陳列状況について

- ・第1類医薬品は、購入者が直接手を触れることができない陳列となっていたか：
なっていた 89.1% (84.8%) / なっていなかった 10.9% (15.2%)
- ・第2類・第3類医薬品がリスク分類別に陳列されていたか：
リスク分類別に区分されていた 65.3% (53.5%) / 曖昧・不明瞭 33.4% (44.8%) / 確認できなかった 1.3% (1.7%)

②店舗従事者は名札をつけていたか：

- 全員つけていた 88.7% (84.8%) / 全員がつけていたが裏返っている人がいた 1.7% (1.4%) / 名札をつけている人とつけていない人がいた 4.4% (5.2%) / 全員つけていなかった 5.2% (8.6%)

- ③第1類医薬品について、購入しようとした際に説明はあったか：
文書を用いて詳細な説明があった 60.7% (55.2%) / 文書を渡されたが詳細な説明がなかった 2.0% (1.3%) / 口頭のみでの説明だった 32.4% (38.6%) / 説明自体なかった 4.9% (4.9%)
- ④③の第1類医薬品に関する説明をした者：
薬剤師 88.4% (84.5%) / 登録販売者 5.0% (6.0%) / 一般従事者 1.6% (2.1%) / 名札未着用等のため不明 4.9% (7.4%)
- ⑤第1類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：
適切な回答があった 95.3% (95.1%) / 適切な回答がなかった 4.7% (4.9%)
- ⑥第2類医薬品に関する相談に対し、適切な回答があったか：
適切な回答があった 93.4% (92.6%) / 適切な回答がなかった 6.6% (7.4%)

(2) 郵便等販売に関する調査

- ①ウェブサイトの記載について
- ・薬局等の管理者の氏名：
記載あり 93.5% (88.3%) / 記載なし 6.5% (11.7%)
 - ・勤務する薬剤師・登録販売者の別・氏名：
記載あり 79.6% (72.8%) / 記載なし 20.4% (27.2%)
 - ・リスク分類に関する定義・解説：
記載あり 45.3% (27.2%) / 記載なし 54.7% (72.8%)
- ②メールでの問い合わせへの対応状況：
返信あり 58.7% (65.7%) / 返信なし 41.3% (34.3%)

(3) 配置販売に関する調査

- ①医薬品の陳列状況：
リスク分類別に陳列 86.0% (82.4%) / リスク分類別に陳列なし 14.0% (17.6%)
- ②相談に対する回答：
適切な説明があった 98.0% (98.0%) / 適切な説明がなかった 2.0% (2.0%)